

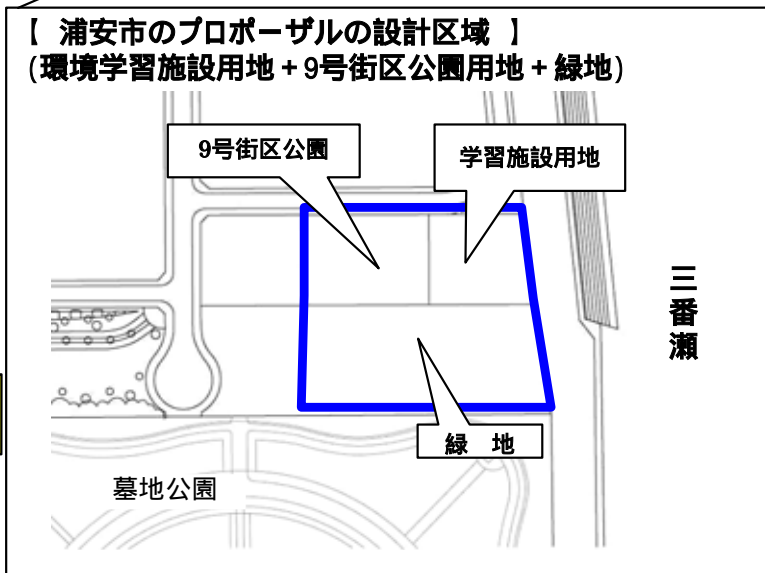
仮称三番瀬環境学習施設

場所はここです

【 仮称浦安市環境学習施設位置図 】



【 浦安市のプロポーザルの設計区域 】
(環境学習施設用地 + 9号街区公園用地 + 緑地)

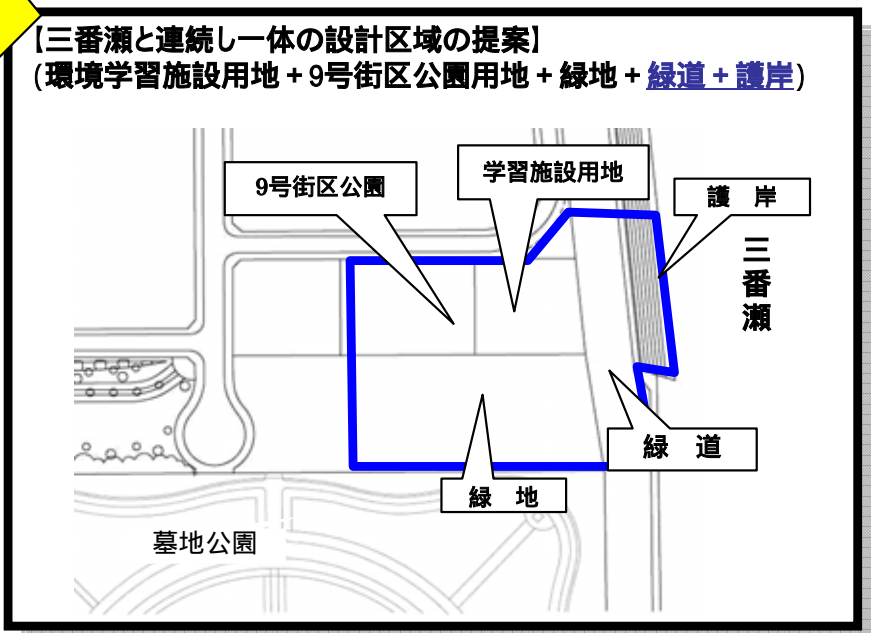


今の計画では...

三番瀬と隔離され
区画割りされた場

市民の要望する提案は

【三番瀬と連続し一体的設計区域の提案】
(環境学習施設用地 + 9号街区公園用地 + 緑地 + 緑道 + 護岸)

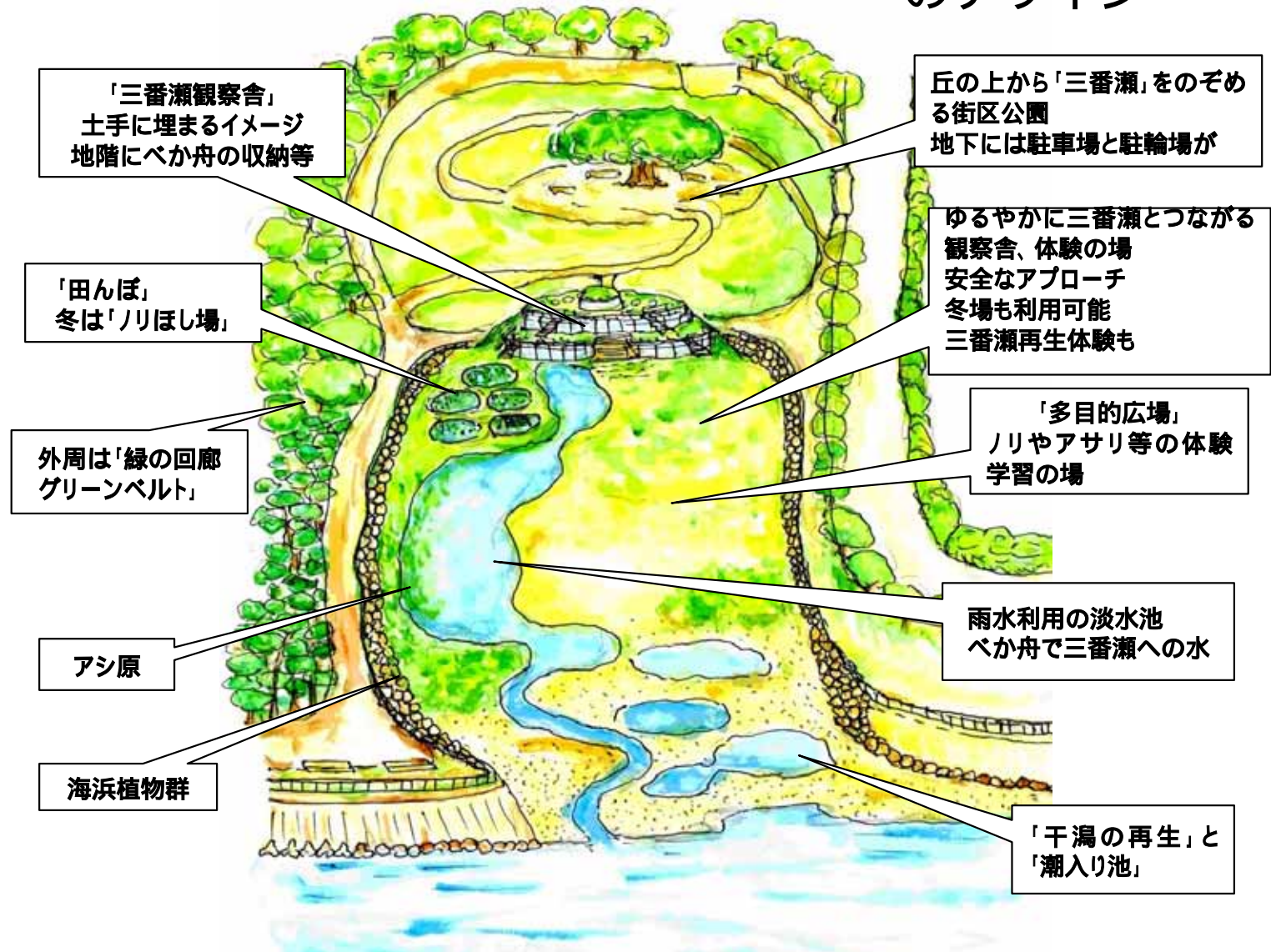


三番瀬と連続し
一体的な場

「三番瀬に面する緑道
や階段護岸も含め、
三番瀬と連続した環境
学習施設と体験学習、
再生体験の場を一体と
して設計、整備する事
を要望します。」

みんなの夢を集めた

「夢の環境学習施設・自然体験・再生体験の場」 のデザイン



できないと思っている事もみんなの力で実現できる！（持続的な情熱が必要）

国土交通省の港湾でも、海水を引き込んで干潟を作る試みを行っている！

横浜市神奈川区にある国土交通省関東地方整備局 横浜港湾技術調査事務所では、「海水導入池のある場所はかつて係船場だったところを改修していく中で、当事務所を東京湾の環境教育機能を備えた事務所にして行こうという発想から、いろいろ知恵を出し合い、市民の方の提案書も頂き、護岸背後を一部取ってしまおうという事になり造成し、「子供たちに・海の現実を見てもらって、最後は自分たちができることを学校や家庭で考えて下さい」という活動をしている。

横浜市の和泉川は、護岸を直してまで自然の川を復元した！

横浜市瀬谷区を流れる和泉川。都会の中にもかかわらず、休日には、泥だらけになって川の生物たちと戯れる子供たちの笑顔があふれる。しかしこの川、わずか10年前までは、生き物とは一切無縁の、矢板で囲まれた幅3mの異臭の漂うドブ川だった。そこで、護岸を取り払い水辺を広く取り、川を蛇行させ、生き物の住みやすい川づくりを行うことにより、川にはたったの一年で生物がもどってきた。更なる効果として地域コミュニケーションの活性化も。「水辺環境づくりはまちづくり、人づくり」の最たる例。

浦安市と協働による市民による公園作り！

浦安市では設計から維持管理まで地域住民等との協働での「公園作り」が行われている（弁天ふれあいの森公園、明海の丘公園、日の出おひさま公園）。時間がかかっても、住民参加で徹底的に議論し作れば、地域の人々が愛し育む「地域の宝」に育っているよ。生き物がすむ「ビオトープや田んぼ作り」も進んでいる（弁天ふれあいの森公園、明海の丘公園、総合公園、小学校や幼稚園）。子供たちも一緒に汗を流して、土を掘って、土を運んで田んぼを作り上げている。みんなで一緒に汗をかけば、三番瀬のためにできることもあるよね。